

有限会社 北新工業

金属プレス加工を追求し 多彩な量産技術を確立

- 納期相談
- 企画力自信有
- メイドインジャパン
- 試作可小ロット
- 量産対応



250tプレス機が並ぶ製造現場

主な事業内容

金属プレス・タッパ加工および
洗浄、梱包などの付帯業務

主な取引先(納入先)

産業機器、物流関連、キッチン関連、
ガス機器などの各メーカー

主な製品

家電製品、自動車、空調機器、
産業機器などの部品

業務内容

**微細加工から大型製品の
成形まで幅広く対応**

北新工業は金属製品のプレス加工会社で、主に家電製品や自動車、空調機器、産業機器の部品加工を請け負う。穴径0.3〜0.6mmのひげ剃り機部品の微細加工から100インチを超えるデイスプレイの背面パネルの成形まで、製品サイズやロット数を問わず、幅広く対応している。また、取り扱う素材はステンレスやアルミ、銅、表面処理材など多岐にわたる。

平成4年、新田典彦社長が創業。当時はバブル経済の崩壊直後で、仕事の確保にも苦労した。「価格の安い案件や難加工の依頼も多くあった。それをプレス加工技術で量産化することにより業績拡大のきっかけをつかんだ」と新田社長は振り返る。

強み 工程数削減や新たな 加工方法を顧客に提案

現在、順送および単発プレスラインのほか5台連結のロボットラインや多数のサーボプレスを保有する。底付きの容器状の製品を作る絞り加工も得意としており、多くの生産設備には加工時のしわを抑えたり、製品を型から離したりするための機能が備わる。ねじ穴を形作るタッパ加工をプレス加工

品質 生産ラインごとの話し 合いや社内テスト実施

と同時に、溶接接合の代わりにプレス機で塑性変形させてつなぎ合わせるなどのVA/V E提案により、顧客の工程数削減やコストダウンに貢献してきた。円盤状の製品の端部を180度に折り曲げて平らに押しつぶすヘミング加工は、従来複数のプレス機を使って行っていたが、金型形状などを工夫することで1台の順送プレス機で実現した事例もある。

平成25年には金属加工の技術やノウハウを生かし、インテリア製造部門を立ち上げ、一般消費者向けに傘立てやテーブルなどを販売している。大手百貨店やインターネット販売のほか堺市のふるさと納税の返礼品で採用されるなど、品質の高さで好評を得ている。

また、社内全体の意識向上にも取り組んでいる。品質を見極めるスキルの確保に向け、全社員が参加する品質測定能力テストや各種勉強会を実施。同時に、製造現場では毎朝、生産効率の改善や作業時の注意事項をテーマに、生産ラインごとにミーティングを実施している。「全従業員が難しいものづくりにも前向きに取り組めるようになってきた」と話す新田社長は、社員の成長に手ごたえを感じている。

社長あいさつ



代表取締役
新田 典彦さん

すべての関係先様への感謝の気持ちを忘れず、会社の発展に努めるとともに、社会に貢献していきたいと考えています。多様化する未来社会においても、希望を持ってものづくりをまい進できる企業をめざし、作り手の思いと誇りが込められた製品をこれからも作り続けていきます。

主な保有設備

- サーボプレス E2W200ほか
コマツ産機製ほか 29台
- サーボタッパ 自社製 20台
- 3槽式溶剤自動洗浄装置 6793型
シャープ製 1台
- 三次元座標測定機
ZEISS ACCURA CS43094-R204-00
カールツァイス製 1台

ISO 9001
ISO 14001

住 所 / 〒587-0001
堺市美原区
大保215

T E L / 072-369-2286
F A X / 072-369-2285

創 業 / 平成4年5月
設 立 / 平成13年5月
資本金 / 1,150万円
従業員 / 33名



生産効率向上のため日々検討を重ねる



生産ラインミーティングの様子



<http://hokushin-kougyo.co.jp/>